

## WELLNESS AWARD OF THE YEAR 2019 結果発表 ～特別賞にトレーナーAYAさん、動画クリエイター水溜りポンド カンタさん、 個人部門はモデル SHIHO さん、企業部門は株式会社資生堂らが受賞～

予防ヘルスケア×AIテクノロジー（人工知能）に特化したヘルステックベンチャー株式会社 FiNC Technologies（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：溝口勇児 以下 FiNC）は2019年6月24日（月）に自身が心身ともに健康でロールモデルとなる方、また心身の健康をサポートしている企業や自治体などを表彰する「WELLNESS AWARD OF THE YEAR 2019」を開催いたしました。



FiNC RELEASE TV : [https://youtu.be/tZmFB2L8\\_Gk](https://youtu.be/tZmFB2L8_Gk)

今年3回目を迎える「WELLNESS AWARD OF THE YEAR 2019」は、日本赤十字社 社長 近衛忠輝様をはじめ、ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼 CEO 高岡 浩三様やポストンコンサルティンググループ シニア・アドバイザー 御立 尚資様など11名の審査員による審査を行い、健康でいることの重要性が広く認知され、健康的な行動をとる人やウェルネス経営を行う企業が増えることを目的として、世の中のロールモデルとなる人や組織を表彰するものです。

今年は、特別賞を含め7部門の授賞を行いました。表彰式では、内閣官房参与、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局長、早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科教授 平田 竹男様や、ハーバード大学 医学部客員教授 根来秀行様など、審査員より受賞者に祝辞スピーチとトロフィーが送られ、また、各部門の受賞者よりスピーチをいただきました。

# FiNC Technologies

## AWARD 開催概要

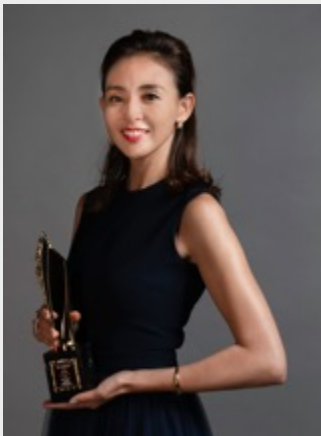
- ◆日時：2019年6月24日（月）14:00～15:00 授賞式（受付13:30 / 開始14:00）
- ◆主催：株式会社 FiNC Technologies
- ◆メディアパートナー：Forbes JAPAN
- ◆場所：株式会社 FiNC Technologies  
東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル7階大ホール

### ◆受賞者一覧

部門賞		受賞
1	<b>個人健康部門</b> 自分自身が心身ともに健康である方	モデル <b>SHIHO 様</b>
2	<b>経営者部門</b> 企業の経営者として健康でいる事に重点を置いており、実践されている方	ユニバーサル ミュージック合同会社 社長兼最高経営責任者（CEO） <b>藤倉 尚 様</b>
3	<b>個人サポート部門</b> 心身の健康を、個人で精力的に支援・活動されている方	国立研究開発法人国立がん研究センター研究所がん分子修飾制御学・分野長 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科連携大学院・教授（連携教授） 理化学研究所革新知能統合研究センターがん探索医療研究チーム・チームリーダー <b>浜本 隆二 様</b>
4	<b>健康サポート企業部門</b> 心身の健康を支援しているプロダクト及びサービスを提供している企業	<b>株式会社 LAVA International</b> 登壇者：取締役 名波 花子 様
5	<b>ウェルネス経営企業部門</b> ウェルネス経営を実施している企業	<b>株式会社資生堂</b> 登壇者：グローバル広報部 部長 安野 裕美 様
6	<b>特別賞 プロフェッショナル部門</b> ウェルネスな生活を世の中に広めるプロフェッショナルとして活躍される方	動画クリエイター <b>水溜りポンド カンタ 様</b>
7	<b>特別賞 アスリート部門</b> アスリートで、ウェルネスを体現し、世の中のロールモデルとなる方	トレーナー <b>AYA 様</b>

# FiNC Technologies

## ◆受賞者スピーチ概要



### 【個人健康部門】 モデル SHIHO 様

<http://shihostyle.com/>

24年間モデルをやってきたおかげで「個人健康部門」賞をいただくことができたんだなと思っております。モデルという職業は、健康意識・体型維持が基本になりますので、いつもその事を意識して過ごしてきました。

20代はヨガ、トレーニングを始め、30代で食事を見直して改善し、40代になった今は心のトレーニングで瞑想を欠かせない毎日になっております。ウェルネスは今世界中で注目されており、私にとってのウェルネスとは何かと考えた時に、ハッピー、ヘルシー、ハーモニー、人だけではなく、環境全てが健康で幸せであって調和していることだと事だと思っています。今後は個人だけではなく、人や環境がもっとウェルネスな世界が広がっていくように活動を続けていきたいと思っております。



### 【経営者部門】

#### ユニバーサル ミュージック合同会社 社長兼最高経営責任者（CEO）藤倉 尚 様

<https://www.universal-music.co.jp/>

本日はこのような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございました。私が健康の大切さを意識したのは10年ほど前でした。当時は朝から会議をし、夜は仕事上の会食などで遅くまで飲んでという生活を繰り返しているうちに体重も5キロ増えてしまいました。ある時「藤倉さん、最近疲れているようだが、パフォーマンスが落ちていないですか？」とアーティストから声をかけられたことで、会社としても自分自身にとっても良くないと気づきました。それ以来、ジムに通ったり、サーフィンを始めるなど健康を意識して積極的に体を動かすようにしています。体がスッキリすると頭の中もクリアになり、人との触れ合い方も優しくなったように感じています。会社の業績もいい形で成長して行きました。社長が自ら変わることを示すことで社員の変化も感じています。アーティストの活動に寄り添うという仕事柄、労働環境を変えていくことは、大きな取組みですが、それが少しずつ会社に浸透して社員もよりパフォーマンスを出せるようになり大変嬉しく思います。



## 【個人サポート部門】

国立研究開発法人国立がん研究センター研究所

がん分子修飾制御学・分野長

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科連携大学院・教授

(連携教授)

理化学研究所革新知能統合研究センターがん探索医療研究

チーム・チームリーダー

浜本 隆二 様

[https://www.ncc.go.jp/ri/division/molecular\\_modification\\_and\\_cancer\\_biology/member/20160118172144.html](https://www.ncc.go.jp/ri/division/molecular_modification_and_cancer_biology/member/20160118172144.html)

この度は栄えある賞をいただきまして誠にありがとうございます。  
私自身、東京大学医科学研究所でがんの研究を始めて、現在は国立がん研究センターで研究を行っております。ご存知のように国民の二人に一人はがんに罹患する時代となっており、もはや国民病の様相を呈しております。2004年に実の母親をがんで亡くしましたが、末期になると治療法がないという現実を私自身が身をもって知らされました。その悔しさをバネに、がんで苦しむ患者さんに少しでも貢献できるような研究が行いたいというのが、私の人生において大きな目標になっています。医科学の進歩というのは非常に早く、最先端の技術というものもどんどん出てきていますので、がんという人類共通の敵に対して、引き続き地に足をつけて、一步一歩闘っていきたくと思っております。最後にですが、このような栄えある賞をいただきまして、1番喜んでいるのは最後まで私のそばにいた天国にいる母親だと思います。天国の母親に育ててもらった感謝の気持ちを伝えるとともに、今後も国民の皆様のために新しいがんの診断法・治療法の開発に邁進していく所存です。



## 【健康サポート企業部門】

株式会社 LAVA International

(登壇者：取締役 名波 花子 様)

<https://lava-intl.co.jp/>

ヨガを通してひとりでも多くの人を幸せにするという理念のもと、ホットヨガスタジオを運営し今年で15周年になります。ヨガはカラダの健康だけでなく、呼吸法をベースに自律神経も整え、心の健康にも繋がり、体験者数は150万人を超えました。

更に今年はたくさんの方々々にヨガを提供すべく、未就学児のママを対象に児童館などに無償でレッスンに赴き、心とカラダの健康に寄与しております。

また、働きがいのある会社を目指し、社員の食生活や働く環境の改善にも取り組んでおります。仕事は人生の30%を占めていると言われており、心とカラダが健康で仕事に取り組めることが幸せであると考え、日本の幸福度をあげるべくリーディングカンパニーとして、これからもたくさんの方々的心と健康に寄与して参ります。



## 【ウェルネス経営企業部門】

### 株式会社資生堂

(登壇者：グローバル広報部 部長 安野 裕美 様)

<https://www.shiseidogroup.jp/>

本日はこのような素晴らしい賞をいただきましてありがとうございます。私たちは本年、新しい企業理念「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD」を作成いたしました。この新しい企業理念の元、改めて社員一人ひとりが資生堂として世の中に何が貢献できるかというようなことを考えながら実行しております。その中で当社社長の魚谷が申しておりますが、「全ての企業成長の源は社員である人だ」ということで社員一人ひとりのために、働き方改革や、女性活躍の支援、育児支援、介護休暇など行なっております。社員一人ひとりが美しい生活習慣を持ちながら、輝けるような社員の取り組みを行なっております。このような会社の取り組みが世の中に少しでも貢献できるようにますます取り組んで参りたいと思います。



## 【特別賞 プロフェッショナル部門】

### 動画クリエイター 水溜りボンド カンタ 様

<https://www.uuum.jp/creator/mizutamaribond>

本日は、こんなに貴重な賞をいただきありがとうございました。ずっと支えてくれている相方とたくさんの視聴者の皆様のおかげで2015年から楽しく、1日も欠かすことなく、そして本当に嫌なこともなく楽しいという情熱の一新で毎日投稿しており、納得いかない日、辛い日もありますが、こういう賞をいただけて本当に光栄です。編集作業が1日5時間やっている中で、走ることの重要性に気づくことが多く、精神的にも身体的にもいい状態でないとも楽しいものも作れないと思うので、僕はこの先、30歳、40歳になっても楽しいものを作り続けていきたいと思えます。そのために健康意識は持ち続けて行きたいと思っております。



## 【特別賞 アスリート部門】

### トレーナー AYA 様

<http://ymn.bz/artist/aya/>

この度、こんな素晴らしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。私は昔から身体を動かすのが大好きで、トレーナー・インストラクターという仕事につきましたが、2年前に心も身体もたくさんの人に伝えていきたいと思い、「日本総フィットネス計画」ということを掲げ、いろんな活動をさせていただきました。現在もその道中なのですが、メディアを通して、運動の素晴らしさを発信していったり、去年立ち上げました「AYA's WORKOUT LIVE」フィットネスフェスティバルというイベントを4都市回ってきました。今年もそういったフェスティバルをやって、たくさんの人に体を動かしていく楽しさをもっと発信して行きたいと思えます。そんな中、このような賞をいただきまして、本当にやってきたことが評価され、すごく嬉しく思います。今後も頑張ってヘルシーな日本を作って行きたいと思っております。

# FiNC Technologies

## ◆審査員（※50音順）

- ・ Catalys Pacific, LLC, Founder & Managing Partner スリングスビー BT 様
- ・ 品川女子学院 理事長 漆 紫穂子様
- ・ シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢 久美様
- ・ 内閣官房参与、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局長、早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科教授 平田 竹男様
- ・ 日経デジタルヘルス 編集長 河合 基伸様
- ・ 日本赤十字社 社長 近衛 忠輝様
- ・ ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼 CEO 高岡 浩三様
- ・ ハーバード大学医学部客員教授 根来 秀行様
- ・ ポストンコンサルティンググループ シニア・アドバイザー 御立 尚資様
- ・ リンクタイズ株式会社 代表取締役会長 兼 Forbes JAPAN 編集長 高野 真
- ・ ロート製薬株式会社 取締役副社長 海外事業・技術担当 兼 チーフヘルスオフィサー ジュネジャ・レカ・ラジュ様

## ■「WELLNESS AWARD OF THE YAER 2019」選考方法

審査は、審査員による書類審査と一般投票による集計結果を元に総合的に判断して決定いたしました。なお、特別賞は主催者側の協議により決定しております。

## ■WELLNESS AWARD OF THE YEAR とは

2016年より開催しており、今年で3回目となります。人々が健康でいることの重要性が、世の中に広く認知され、健康的な行動を取る人や組織が増えること、そして世の中のロールモデルとなる事例を発信する場となることを目的とし、企画・発足いたしました。心身ともに健康な方・健康について支援されている「ヒト」「企業」「サービス」「プロダクト」に焦点を当て、その分野でご活躍されている方々を表彰させていただいております。

ホームページ：<https://wellnessawardoftheyear.com>

## 株式会社 FiNC Technologies

当社は、「Personalized AI for everyone's wellness」をミッションに掲げる予防ヘルスケア×テクノロジー（人工知能）に特化したヘルステックベンチャーです。薬剤師や管理栄養士、理学療法士やトレーナー等の健康領域の資格保有者、データサイエンティストやエンジニア、遺伝学・栄養学・運動学・心理学などのライフサイエンス領域の研究者で構成されたプロフェッショナル集団です。

- ◆会社名 株式会社 FiNC Technologies
- ◆所在地 東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル5F
- ◆設立 2012年4月11日
- ◆代表者 代表取締役 CEO 溝口 勇児
- ◆従業員数 303名（2019年6月1日現在/グループ会社・アルバイト・インターン含む）

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>  
株式会社 FiNC Technologies 担当：弓削和美／瀧本裕子／竹谷光子  
電話：050-1742-0330（代） Mail：pr@finc.com

# FiNC Technologies

【ご参考】

## ◆受賞者プロフィールおよび受賞理由

### ■個人健康部門（自分自身が心身ともに健康である方）

モデル SHIHO 様

<http://shihostyle.com/>

プロフィール：

1994年のデビュー以来、若い女性の圧倒的な人気を得てトップモデルになる。日本のトップファッションアイコンとして、ファッション雑誌・テレビ・ラジオ・広告・出版・プロデュース業など幅広く活躍し、同世代の多くの女性から支持を受けている。他のモデルにはない自身の自然体・透明感・ヘルシーさを強みにヨガ本・写真集なども出版。最近ではアジア圏を中心に海外でも活躍の場を広げている。

受賞理由：

ヨガブームの火付け役として、ヨガ本や写真集も発売し、ヨガに関しては講師として「YOGA JAPAN 2017 TRYOUT at 日本武道館」などのイベントにも出演している点。また、長年トップファッションモデルとしてパフォーマンスを発揮し続けるため、運動だけでなく食事にもストイックに健康管理をされていた点などが評価された。

### ■ 経営者部門（企業の経営者として健康でいる事に重点を置いており、実践されている方）

ユニバーサル ミュージック合同会社 社長兼最高経営責任者（CEO）藤倉 尚 様

<https://www.universal-music.co.jp/>

プロフィール：

1992年にポリドール(現ユニバーサル ミュージック合同会社)に入社。2012年に副社長兼執行役員となり、同社邦楽4レーベルなどを統括。2014年1月より社長兼最高経営責任者（CEO）となり、今に至る。健康に関しても自分自身の健康を重要視するだけでなく、社員の模範となるような行動をとっていた。

受賞理由：

個人が心と身体のメンテナンスができるようになることが必要な中、経営者として自身の健康を重要視するだけでなく、その生活スタイルから社員の模範となるような行動をとっていた。また、トレーニングもダイエットが目的ではなく、パフォーマンスを上げるための肉体改造を行なっている点などが評価された。

### ■ 個人サポート部門（心身の健康を、個人で精力的に支援・活動されている方）

国立研究開発法人国立がん研究センター研究所がん分子修飾制御学・分野長

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科連携大学院・教授（連携教授）

理化学研究所革新知能統合研究センターがん探索医療研究チーム・チームリーダー

浜本 隆二 様

[https://www.ncc.go.jp/jp/ri/division/molecular\\_modification\\_and\\_cancer\\_biology/member/20160118172144.html](https://www.ncc.go.jp/jp/ri/division/molecular_modification_and_cancer_biology/member/20160118172144.html)

# FiNC Technologies

プロフィール：

15年以上にわたり、ヒストンを中心としたタンパク質メチル化異常のがんにおける重要性に関する研究を行ってきた。世界に先駆けて、ヒストンメチル化異常がヒトがん発症に関わる分子メカニズムを解明し、その後もがん治療の標的として重要なヒストンメチル化酵素及び脱メチル化酵素を15種類程度同定した。また医療AIの開発にも積極的に取り組んでおり、CREST及びPRISMという二つの国家プロジェクトを研究代表として推進し、我が国のAI開発拠点の一つである理化学研究所革新知能統合研究センターのプロジェクトをチームリーダーとして推進するとともに、日本医療AI学会の代表理事として、日本の医療AI分野の発展に尽力した。

受賞理由：

AIの医療応用に向けて日本の叡智を集結させることをうたう学会「日本医療AI学会」の代表理事として、AIを医療現場で活用するために欠かせないガイドラインの整備などに取り組んでいる。また、医療分野への適切なAIの導入に重要な役割を担っており、最先端のテクノロジーと医療現場の融合促進している点が評価された。

## ■ 健康サポート企業部門（心身の健康を支援しているプロダクト及びサービスを提供している企業）

株式会社 LAVA International（登壇者：取締役 名波 花子様）

<https://lava-intl.co.jp/company/>

プロフィール：

「ヨガを通してひとりでも多くの人を幸せに」を理念に、日本最大規模・全国420店舗以上で展開し、心とカラダの健康サポートを行っている。また、ヨガのチャリティ「ヨガまるプロジェクト」で、募金活動だけでなく、スタジオに通うのが難しい、就学前のお子様のいるママに対して児童館などで行う無料のヨガクラスを提供する活動なども行っている。またフィットネスクラブ総合満足度 No.1 (2018年7月株式会社アイディエーション調べ)も獲得。

受賞理由：

「ヨガを通して、ひとりでも多くの人を幸せにする」ミッションのもと、業界トップとして日本で最大の店舗数/ネットワークを築き、数多くの方の日頃の健康増進サポートを行っている。また、チャリティヨガプロジェクトを行い、児童福祉に寄付を行った点などが評価された。

## ■ ウェルネス経営企業部門（ウェルネス経営を実施している企業）

株式会社資生堂（登壇者：グローバル広報部 部長 安野 裕美様）

<https://www.shiseidogroup.jp/>

プロフィール：

資生堂は、「BEAUTY INNOVATION FOR A BETTER WORLD」というミッションのもと、美しさを通じて人々が幸せになるサステナブルな社会の実現を目指しています。その中で、社員一人ひとりのかけがえのない健康を守るため、健康管理基本方針を定め、社員の心身の健康をサポートしています。「一瞬も 一生も



# FiNC Technologies

美しく」をサポートする企業として、社員一人ひとりが「心身ともに健康」で生きていくことを支援することにより、健康で健全な経営を目指す。健康経営優良法人 2019（ホワイト 500）にも選定された。

受賞理由：

「一瞬も 一生も 美しく」をサポートする企業として、社員一人ひとりが「心身ともに健康」で「一瞬も 一生も 美しく」生きていくことを支援することにより、健康で健全な経営を目指している点や資生堂の「健康管理基本方針」に則り、生活習慣病対策やメンタルヘルスケア、喫煙対策等のセミナーを実施し健康経営優良法人 2019（ホワイト 500）に選定された点などが評価された。

## ■ 特別賞 アスリート部門

トレーナー AYA 様

<http://ymn.bz/artist/aya/>

プロフィール：

2012 年、クロスフィットと出会う。クロスフィットをやればやるほど身体に効果が出るその魅力にハマり、世界のフィットネスブランド Reebok からアンバサダーに任命され、ファッションモデルから フィットネスモデルへと転身した。また、現在自身のジム「Reebok Cross Fit Heart & Beauty」ではコーチとして活動中。身体を鍛えるためにトレーニングだけではなく、食事にも気をつけている。

受賞理由：

米カリフォルニア発祥の運動強度の高い「クロスフィット」に出会い、独自のプログラムを考案。ハードなワークアウト内容と妥協を許さないパワフルな指導、そして自身の美しいボディで脚光を浴び、マスメディアでも多数取り上げられ、多くの人にトレーニングや食事指導を行い健康の大切さを伝えている点などが評価された。

## ■ 特別賞 プロフェッショナル部門

動画クリエイター 水溜りボンド カンタ 様

<https://www.uuum.jp/creator/mizutamaribond>

プロフィール：

大学でお笑いサークルで出会ったカンタとトミーの 2 人がコンビを結成し、2015 年から YouTube を始め幅広い年齢層からの人気を集めている。都市伝説、検証、実験、ドッキリなど幅広いジャンルで面白い動画を毎日欠かさず投稿している中でも、時間が空いているときに気分転換にランニングをするなど、体を動かしている。

受賞理由：

日本を代表する動画クリエイターとして毎日動画を欠かさず更新し忙しく過ごしている中でも、時間を見つけてランニングをするなど、トレーニングを欠かさず行っている。2017 年 2 月 26 日に行われた東京国際マラソン 2017 にも出場し 42.195 k m を完走した。その際も毎日 10km~20km 走る動画を欠かさず更新して、視聴者の健康に対する意識をあげていた点などが評価された。